

接着ミシンピーシングシートとミシンキルト芯でつくる

湯たんぽカバー

エコな製品として人気の「湯たんぽ」のカバーをつくってみましょう。時間のかかるピーシングも、接着ミシンピーシングシートを使えば、スピーディーかつ美しく仕上げることができます。また、ミシンキルト芯は布への吸い付きが良いので、しつけの手間が省けて便利。親しい人へのプレゼントや愛犬・愛猫の寒さ対策にいかがですか。



■材料

- 1) 接着ミシンピーシングシート (MPS-1P) :62.5×25cm
- 2) ミシンキルト芯薄手 (KN-7060P) :55×24cm
- 3) 表布 ピース①C色 / 62.5×5cm:2枚
- 4) 表布 ピース②A色 / 7.5×7.5cm:7枚
- 5) 表布 ピース②B色 / 7.5×7.5cm:4枚
- 6) 表布 ピース②C色 / 7.5×7.5cm:3枚
- 7) 表布 ピース③A色、B色 / 10×7.5cm:各1枚
- 8) 裏布 C色:55×24cm
- 9) 60番ミシン糸

■用具

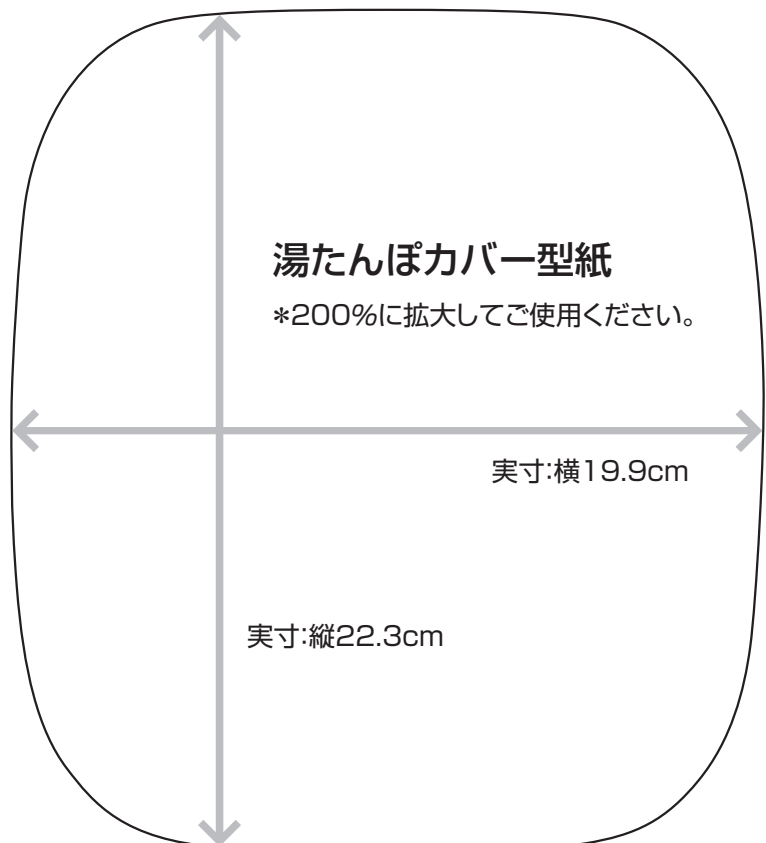
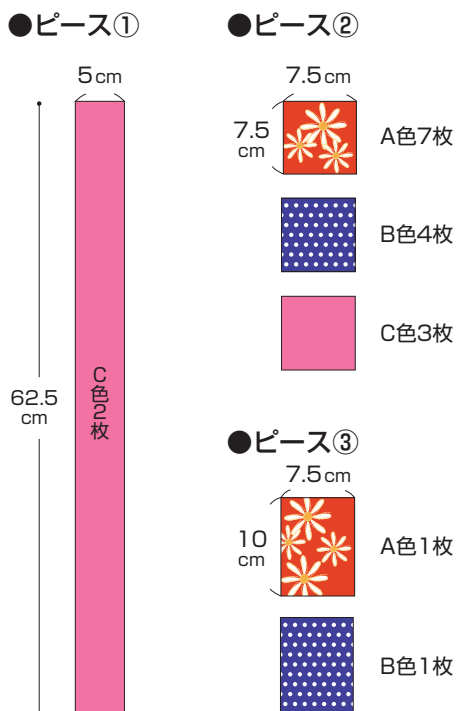
はさみ、ローラーカッター、カッティングマット、ソーイングクリップ (または待ち針)、定規、チャコ、アイロン、ミシン

■その他

- ・小型湯たんぽ (サイズ:縦18×横15×厚さ3.5~5.3cm、容量:470ml)
- ・型紙 (本紙をプリンタで出力し、200%に拡大コピーしてご利用ください)

■ピースの種類と寸法

ピース①~③を下記の寸法で裁ち、それぞれ必要な枚数を用意します。

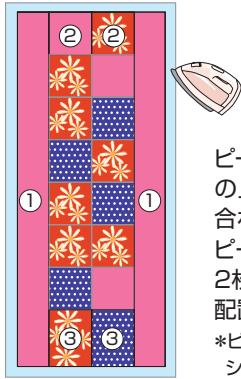


ご注意:カバーは必ずしも低温やけどを防止するものではありません。
湯たんぽの使用上の注意を必ず読んで、ご使用ください。

■つくり方のポイント

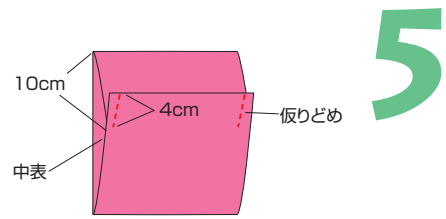
- ・ピーシングする際、縫い代を7mm以上取り過ぎるとトップが小さくなってしまいますので、注意しましょう。
- ・ピーシング後の縫い代はアイロンをかけてしっかり倒します。また、完成したトップにも表からアイロンをかけ、平らに伸ばしてください。こまめにアイロンをかけることが、きれいに仕上げるコツです。

■手順



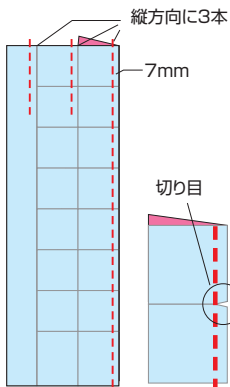
1

ピーシングシートの接着面(ざらざらの面)の上に、ピース①~③の18枚をラインに合わせて配置します。
ピース①の2枚は左右両側に、ピース③の2枚は中央最下段に配置。
配置が決まったら、アイロンで接着します。
*ピーシング方法の詳細は、接着ミシンピーシングシートに同封されている使い方をご参照ください。



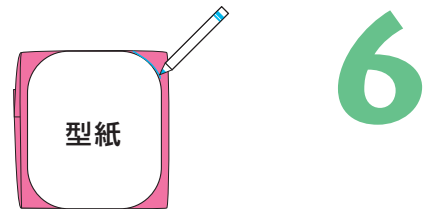
5

中表にして、カバーの上から10cmのところを折り、その上に4cmの重なりをとってカバーの下部を重ねます。
口の部分はだぶつきやすいので、左右に伸ばして平らにセットし、重なり部分をミシンで仮止めします。



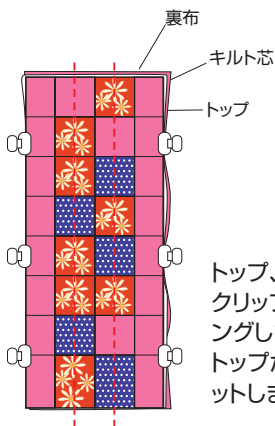
2

ピースを接着したピーシングシートのつぎ目のラインで中表に折り畳み、シートのラインから7mmのところを縦方向に3本縫います。
横方向との交点の縫い代に切り込みを入れます。
縫い代を片倒しし、アイロンで整えた後、横方向のつぎ目7本を縫います。トップが完成。



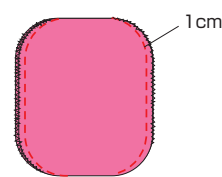
6

裏面に型紙を当て、型紙にそってチャコで線を描きます。
*出来上がり幅が型紙より小さくなってしまった場合は、上下左右とも型紙を内側にずらして線を描いて下さい。型紙は大き目なので、寸法が少し小さくても大丈夫です。



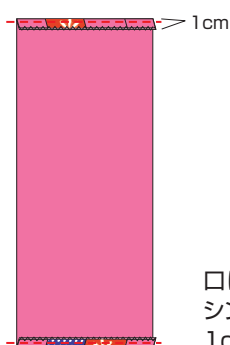
3

トップ、キルト芯、裏布を重ねてソーイングクリップでとめ、縦に2本ミシンでキルティングします。
トップからはみ出したキルト芯と裏布をカットします。



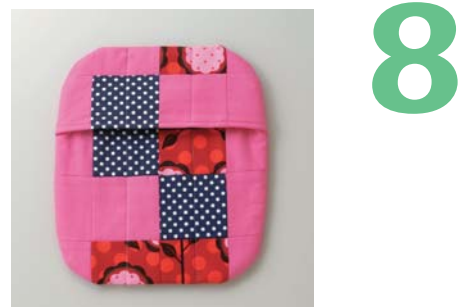
7

チャコの印通りに、出来上がり線をミシンで縫います。
一度、表に返して出来上がりを確認します。
OKなら裏返して、1cmの縫い代に裁ち落とし、ロックミシンをかけて端を始末します。



4

口にあたる部分(上下の両端)にロックミシンをかけます。
1cm幅で折り畳んで、縫います。



表に返して完成。